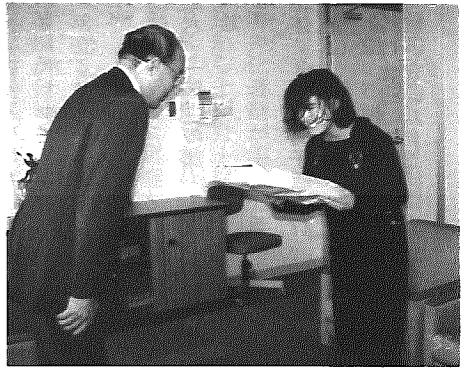


総合体育館個人利用者1万人達成



川島教育長より記念品の贈呈

四月のオープン以来、総合体育館は多くの人に利用されていますが、去る十月十四日に個人利用者が一万人を達成し、一万人目の利用者に川島教育長から記念品が贈られました。一万人目の利用者となったのは、亀田町在住の板垣和子さん(一

十六歳)。板垣さんが総合体育館を利用しはじめたきっかけは、骨粗鬆症予防と始めたトレーニングがきっかけで、一年間の定期利用券を購入、暇を見ては、総合体育館に通いトレーニングを続けているとのこと。

万人目の利用者となった感想について「突然のことなので大変びっくりしました。横越村のすばらしい施設を利用していただけるだけでも有難いのに記念品までいただいて恐縮に思っています。」と。なお、総合体育館の団体利用人数は九月末現在、延べ三十七団体一四、一六八人となりました。

横越スポーツ少年団野球部A 二年ぶり三回目の優勝

九月十日横越村近郷少年野球大会が横越中学校、横越小学校グラウンドに於いて開催され、参加六チームによる熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、横越スポ少野球部Aと荻川スポ少の対戦となり、試合経過は、横越スポ少野球部Aが一回表にスクイズによる2点と四番小武選手の手二塁打の2

点の合計4点を挙げ波にのり、その後、植木投手の活躍(ノーヒットノーラン)により荻川スポ少の反撃を阻止し4対0と勝ち二年ぶり三回目の優勝を果たしました。また、横越スポ少野球部Bは準決勝まで勝ち残り三位入賞しました。

ボランティア講座だより③

今回は、村内の介護体験者の方々から「介護家族の思い」と題して貴重な体験談を聞き、それぞれ3年から10年にわたって在宅で介護された方の率直な思いを知ることができました。「介護家族の思いは介護した者でないとわからない」という言葉に在宅での介護がいかに大変なものかということが感じられました。それにもかかわらず、母、姑の介護を深い愛情と思いやりから続けられたことに対して心から敬意を表さずにはいられませんでした。又「介護を続けてこられたのは、ホームヘルパーやデイサービスなどの行政サービスを上手に利用したから」「ヘルパーやボランティアなどの力を借りる

ためには介護家族自身が心の扉を開けて、他人が家の中に入ることに対する抵抗感をなくさなければならぬ」など、身近な方々の体験談ということで参加者にとって大変印象深かったようです。

また、それに先立って栄養士の吉井ユミ子氏を講師に、介護食の学習と調理実習を行いました。栄養を考えて嫌いな物を無理に食べさせるのではなく「食べるものにしておいしく食べて栄養にしてみよう」という気持ちで、また特別なものを作ると長続きしないので、家族と同じものを食べやすい形にしてあげることが基本になるということです。食べさせる時には、ミキサーなどでドロドロになったも

村史編さんだより ⑬

横越村合併の経緯とその周辺 ⑥

先月号でもお話ししましたとおり、明治十七年(一八八四年)には複数の集落に一つの戸長役場が置かれ、連合戸長役場と呼ばれるようになります。このように、この当時の地方行政の区域は県・郡役所・連合戸長役場・旧村という四重構造の複雑な形態を示すことになりました。

さて、いよいよ明治二十一年(一八八八年)六月になると市町村制を翌年にひかえ、内務大臣訓令として町村合併の推進が打ち出されます。これは市町村を独立させるにあたり、国内の町村があまりにも小規模なもの

に世論や地域住民の反対を浴びました。明治二十一年(一八八八年)八月十九日の新潟新聞には、次のような記事が載っています。「(前略) 兎に角地方制度の実行に着手する際は、独断其区域を決するが如きことを為さず、十分に町村人民の意見を採るべき致度ものなり」

文芸欄

俳句

内定のついに沙汰無く秋の風
高橋 鴉子
秋風や一人の客の路線バス
村木 緋佐子
飾られて秋風ひびく喪の花環
坪谷 耕雨
秋の風川のない橋渡りけり
今井 天花
括られし黍殻鳴らす秋の風
市村 横雲子

コケシの瞳皆下むきに秋の風
小林 千恵子
厚き書をとじ鈴虫をひき寄せる
笠原 茶山
逢う事の無き別れかも秋の風
神田 斗子
鈴虫を飼い闘病の日なりけり
坪谷 十九一
舞きて豚売られゆく秋の風
坪谷 十九一

のを直接見せないようにする配慮も大切だそうです。実習後は、お互いに調理したものをお互いにおいしく味わいませました。

ふるさと よこし発見
お知らせ
募集について

横越村中央公民館では、特に新たに転入された方に横越村のことを良く知って頂くために「ふるさとよこし発見」の中で三つの講座を計画いたしました。しかし、参加希望人数が少なく開講が危ぶまれていましたが「横越探訪」と「郷土料理」講座が開講できる運びとなりました。

残りの「草木染」は、残念ながら中止させて頂きたいと思っております。

お菓子作り講座①

＜材料 (21cmパイ皿1枚分)＞

8パイ皮	
薄力粉	150g
強力粉	100g
パイ用バター	170g
冷水	100cc
塩	小さじ1/2

＜作り方＞

1. 台の上で強力粉と薄力粉を合わせてふるいます。粉の中心にバターを置き、バターに粉をまぶしながら、スクッパーであずき大の大きさにきざみます。
2. 両手でサラサラした状態になるように混ぜ、冷水を振りかけます。練らないようにひと固まりにします。
3. めん棒に粉をまぶし軽くたたき、生地を縦30cmにのばします。三つ折りにして向きをかえてのばし、また縦に30~40cmにのばします。
4. 3の作業を3~4回繰り返すと生地ができていきます。ビニール袋に入れて冷蔵庫か冷凍庫の中でしばらくやすませるとのばしやすくなります。
5. パイ生地を厚さ3~4mmに伸ばし、その上にパイ皿を逆さに置く。パイカッターでパイ皿の外側5mm位をグルリと切りぬきます。
6. パイ皿に皮をかぶせます。底の部分全体にフォークで小さな空気穴をあけ、縁の部分に卵を塗ります。
7. 底に軽くおもしになるものを置きます。180℃に温めた天火の中段か上段に置き、約10分焼きます。おもしろいところまで焼きます。

パンブキンパイ

11月の社会教育事業

＜中央公民館＞
☎385-2043

- 育児教室
期日 毎週月曜日
時間 午前10時~
- 秋の文化祭(菊花展)
期日 11月3日(金)・4日(土) 午前8:30~
内容 菊花展 陶芸展 書道展 写真展 手芸展 チャリティバザー
- お菓子づくり講座
期日 11月7日(火)
時間 午前9時30分~
内容 芋ようかん・じょうよ饅頭
講師 木伏二子氏
- 保育ボランティア講座
期日 11月15日(水)
時間 午後1時30分~
内容 講演「なぜ今保育ボランティアなのか」
講師 倉本正子氏
- ふるさとよこし発見I「横越探訪」
期日 11月17日(金)
時間 午前9時~
内容 村内工場施設見学
- ふるさとよこし発見II「郷土料理」
期日 11月20日(月)
時間 午前9時~午後2時
講師 横越村農村生活アドバイザー
- 子育てセミナー
期日 11月25日(土)
時間 午前9時30分~
講師 牛腸ハル氏

＜総合体育館＞
☎385-4477

- すこやか杯小学生バレーボール大会
期日 11月5日(日)
総合体育館
- 三越杯バレーボール大会
期日 11月12日(日)
総合体育館
- 第2回フレンドリーカップ少年サッカー大会
期日 11月12日(日)
小学校グラウンド
- 新潟市実業団バレーボールリーグ
期日 11月19日(日)
総合体育館
- 下越地区体育指導委員研修会
期日 11月26日(日)
総合体育館
- 第10回BSN新潟県中学校選抜新人バスケットボール大会新潟地区予選会
期日 12月9日(土)・10日(日)
総合体育館
- 4人制ソフトバレーボール教室
期日 11月7日(火) 11月21日(火)
11月28日(火)
屋の部・夜の部開催
- 健康体力づくり教室
・わくわくシルバークース 毎週木曜日10時~
・にこにこフレッシュコース 毎週火曜日10時~
・がんだんシェイプアップコース 毎週木曜日19時15分~
- トレーニング器具操作講習会
期日 11月14日(火) 午後7時~8時30分
11月24日(金) 午後7時~8時30分
- ミニバス教室 毎週金曜日 午後6時30分~
- ドッジボール教室 第2・第4土曜日 午前9時30分~

まだまだ人数募集しておりますので、参加希望の方は中央公民館までご連絡ください。(☎385-2043)